

## 「認定NPO法人 アレルギ-支援ネットワーク」の目的

日本国民に対して、アレルギ-、アトピー、化学物質などの問題解決およびその患者支援に関する事業を行い、もってすべての国民の健康で快適な生活に寄与することを目的とする。

- ①患者や家族の支援、及び患者会の設立運営支援と、自治体等のアレルギ-諸施策などを支援する事業
- ②科学的知識の普及啓発事業
- ③アレルギ-問題解決のための調査、研究事業
- ④災害対策の推進と災害時の救援事業
- ⑤日常生活用品等の開発・普及、販売等の事業

## 「認定NPO法人 アレルギ-支援ネットワーク」の沿革

- 1988年 ダニ対策活動にかかわる市民懇談会としてスタート活動の内容やエリアの変化とともに名称も変わる
- 2003年 7月1日「NPOアレルギ-ネットワーク」法人取得患者(会)や、自治体、企業などの「橋渡し役」(中間支援組織)として自治体や企業などと連携する事業部の活動領域が広がり、独立して活動することとなった。
- 2006年 9月1日「NPO法人アレルギ-支援ネットワーク」設立
- 2009年 9月1日 認定NPO法人、取得
- 2014年 10月7日 第66回 保健文化賞 受賞

## 「認定NPO法人 アレルギ-支援ネットワーク」の役員

顧問	宇理須厚雄	ウリズカニク 名誉院長
顧問	須藤 千春	元 中部大学 応用生物学部 教授
顧問	松永佳世子	藤田保健衛生大学 医学部 アレルギ-疾患対策医療学講座教授
顧問	水谷 章夫	名古屋工業大学 名誉教授
理事長	坂本 龍雄	中京大学 スポーツ科学部 教授
副理事長	伊藤 浩明	あいち小児保健医療総合センター 副センター長 兼 総合診療科部長
副理事長	小川 雄二	名古屋短期大学 教授
理事	青木好子 和泉秀彦 加来あゆみ 澤人直之 渡邊秀夫 篠原隆 中西里映子 橋本宏一	

## 「会員になるには」

目的(定款)を認め、入会届と入会金・会費を納めれば誰でも会員になることができます。(退会も自由)

### 会費

- 〔一般会員/個人・団体〕入会金 2,000円、年会費 3,000円以上
- 〔正会員/個人・団体〕入会金なし、年会費 1口 5,000円
- 〔法人(賛助)会員/団体・個人〕入会金 5,000円、年会費 1口 10,000円 1口以上

企業規模が大きな法人(資本金の額が1億円を超える、または、従業員数が100人を超える法人)は、原則として、10口以上でお願いします。

詳しくはホームページをご覧ください。

## 「入会の区分」

- 一般会員：当法人の提供するサービスを受けることができる団体・個人
- 正会員：当法人の目的実現のため会の運営に協力し、参加する団体・個人
- 法人会員：当法人の目的に賛同する企業など(賛助会員)

## 「会員特典」

- 個人会員(一般会員・正会員)
  - ・共同購入を「会員料金」で利用することができます。(詳しくは各商品ページをご覧ください。)
  - ・お近くにアレルギ-の会がない場合、その設立のお手伝いをします。(原則無料)

### 法人(賛助)会員

- ・アレルギ-大学など、本会が各地で開催するイベントで協賛企業としてPRされます。
- ・アレルギ-患者家族に対する、アンケート調査やグループインタビューの企画・設定等を承ります。(有料：随時 別途ご相談)

## 《事務局》

〒453-0042 名古屋市中村区大町2-45-6  
Tel: 052-485-5208 Fax: 03-6893-5801  
e-mail: info@alle-net.com URL: <http://www.alle-net.com/>

2016年7月 発行

## 認定NPO法人(認定特定非営利活動法人) アレルギ-支援ネットワーク

どこかに。

みんなと。

明日へ。必ずつながっている。

- 「認定NPO法人アレルギ-支援ネットワーク」は寄付金を募っています！個人、企業の皆様からの認定NPOへの寄付には免税の特典があります。あたたかいご支援をよろしくお願致します。寄付金は下記口座へお寄せください。  
(郵便振替) 口座番号 00870-6-182317 口座名義 認定NPO 法人アレルギ-支援ネットワーク  
(愛知銀行) 本陣支店 普通預金 2019056 口座名義 特定非営利活動法人アレルギ-支援ネットワーク

## 【認定NPO法人アレルギー支援ネットワーク】の主な活動

### 【アレルギー大学とは】

2006年より開設。保育園・学校・保健所・病院で働く専門職や、アレルギー患者・家族の方々に、アレルギーに関する知識と技術を身に付けていただく講座です。基礎・初級、中・上級講座を設け、上級修了者には修了証を授与。さらに食物アレルギーマイスターの資格取得を目指します。



講座



医療実習



調理実習

2015年度第10期アレルギー大学は全国8会場（愛知・静岡・三重・岐阜・千葉・新潟・京都・沖縄）で開講し、のべ2,523人が受講しました。

「アレルギー大学」は、本法人が行う事業の名称です。「学校教育法」により行う「大学」ではありません。

### 【食物アレルギーの診断を補助する管理栄養士の出張業務】

アレルギー専門施設のもとで研修した管理栄養士が医療機関に出張し、食物アレルギーの栄養食事指導を行います。



### 【地域での患者会の設立・運営支援】

東海地域の各市町において、アレルギーを持つ患者・家族が参加できる会の設立とその活動・運営の支援を行います。自治体・医療機関・防災ボランティア・専門家などと協働し、アレルギーの勉強会や料理講座を開催するなど、地域で支え合う仕組みづくりをします。

東海地域には約40の会が活動しています。（2016年6月現在）

## 認定NPO法人アレルギー支援ネットワークの役割

患者

患者本人とその家族、  
東海アレルギー連絡会、  
全国各地のアレルギーの会

アレルギー支援  
ネットワーク

医師、大学関係者、  
看護師、薬剤師、  
栄養士、建築士、  
保育士、調理師など

自治体、  
関連企業、  
研究機関

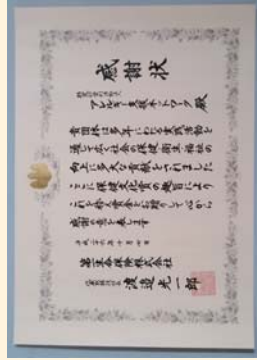
専門家

行政機関など

そして確かな情報提供を  
行なっています。

### 【第66回 保健文化賞 受賞】

「食物アレルギーを持つ子どもたちを支える社会環境をより良くするため、教職員や栄養士等の専門職に対してアレルギーに関する教育啓発活動（「アレルギー大学」）を行うとともに、防災対策や被災地での災害支援活動に貢献している」業績が評価されました。（2014年10月）



第66回 「保健文化賞」  
主催：第一生命保険株式会社  
後援：厚生労働省  
朝日新聞厚生文化事業団  
NHK 厚生文化事業団

### 【災害に対する備え】

地震・水害・土砂崩れ・・・災害は、何時どの地域でおきるか予測は不可能です。阪神淡路大震災・東日本大震災・熊本地震などにおける支援活動の教訓から、アレルギー患者家族は、自助の備え、共助の仕組み作りが必要です。平時より、どのように対策を立てておくよいか、患者会・医療機関・自治体・災害ボランティアなどと協働して準備を進めています。

### 【緊急時（災害時）おねがいカードの普及】

親と離ればなれになっても、アレルギー情報が確認できるよう、住所・氏名・緊急時の連絡先や主治医・アレルギーなどを記入し、常時、子どもが身に付けておくカードの普及をしています。



アレルギー児に携帯させる  
「緊急時のおねがいカード」

### 【アレルギー対応商品共同購入】

より安全で、より低刺激の原材料にこだわり、からだや環境にも優しい商品を皆さまにお届けしています。また、アレルギー支援ネットワークが出版・発行した書籍もご購入いただけます。

＜取り扱い商品・サービス項目＞

#### 【書籍】



アレルギー大学テキスト

「これだけでわかる食物アレルギー」

食物アレルギーの食事指導を行う管理栄養士 必見！

「おいしく治す 食物アレルギー攻略法」



#### 【寝具関係】

- 布団・敷きマット・丸洗い
- ベッド

オリジナル  
防ダニシーツ



#### 【寄付】 リポマングネット

「佐藤可士和」モデル  
売上利益はアレルギー患者支援に使用します。



#### 【スキンケア関連商品】

- シャンプー
- 化粧品



#### 【食品】

- 防カビ備蓄品（アルファ化米）
- 食材・お菓子



### 【その他の活動】

- 一般向けの講演会やイベントの開催
- 会員からのアレルギー相談や専門医などのご案内
- アレルギー関連商品の開発や改善及びその普及
- 臨床研究・モニター調査など患者のQOL向上に役立つ研究調査
- 講演会・研究会への講師派遣